

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道業務課
	施策	汚水・雨水対策の充実		電話番号	087-839-2720
	基本事業	汚水対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	合併処理浄化槽設置整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	合併処理浄化槽の設置者に対し補助金を交付することで、合併処理浄化槽の普及促進を図り、生活排水処理対策を推進する。令和元年度から、国の単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に重点を置く方針に伴い、本市においても新設に対する補助を廃止した上で、転換に重点を置く取組として、引き続き、配管費等への上乗せ補助を行うことにより、さらなる転換促進に努める。				
6年度概要	・浄化槽設置費補助 ・単独浄化槽撤去・配管費補助 ・委託料 事業費	280基 250基 280基 212,967千円			
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	①ソフト事業（法律による実施義務有）	

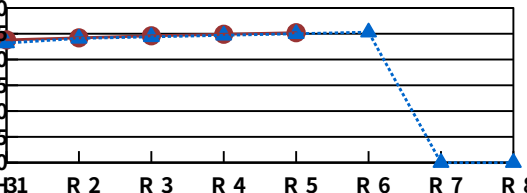
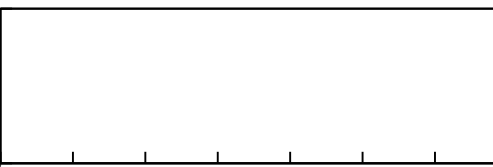
【事業の目的】

対象（何を）	浄化槽整備区域に居住する市民
意図（どのような状態にしたいか）	浄化槽整備区域における生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 浄化槽設置助成基数	基	247	250	255	280	260
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5																								
合併処理浄化槽による汚水処理人口普及率	%	目標値		24.4	24.7	25	25.3	25																								
		実績値		24.6	24.9	25.2																										
成果指標①	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）																															
	令和5年度末の合併処理浄化槽等による汚水処理人口普及率は、平成25年度からの転換上乗せ補助制度により、合併処理浄化槽の設置整備が順調に進み、25.2%となり、目標値（25.0%）を達成した。		(目標達成度) 																													
			 <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>R 2</th><th>R 3</th><th>R 4</th><th>R 5</th><th>R 6</th><th>R 7</th><th>R 8</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>24.4</td><td>24.6</td><td>24.7</td><td>24.9</td><td>25.2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>目標値</td><td>24.4</td><td>24.4</td><td>24.4</td><td>24.4</td><td>24.4</td><td>25.0</td><td>25.0</td></tr></tbody></table> (達成度) 100.8% 35点						種別	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	実績値	24.4	24.6	24.7	24.9	25.2	0	0	目標値	24.4	24.4	24.4	24.4	24.4	25.0	25.0
種別	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8																									
実績値	24.4	24.6	24.7	24.9	25.2	0	0																									
目標値	24.4	24.4	24.4	24.4	24.4	25.0	25.0																									
成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5																								
		目標値																														
		実績値																														
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）																															
			(目標達成度)  (達成度)																													

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	千円	212,018	213,712	213,814	237,597
（事業費）	千円	187,993	189,434	189,184	212,967
（職員人件費）	千円	24,025	24,278	24,630	24,630

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
単独浄化槽及び汲み取り便所からの転換に重点を置く国の方針に沿い、令和元年度より単独浄化槽等からの転換にのみ補助金を交付するとともに、設置補助に合わせて要件を満たす場合には配管工事等に対する上乗せ補助も実施し、令和5年度は、255件の合併浄化槽設置者に対して補助金を交付した。また、補助金の受付を抽選方式としたことで年度の後半で補助を希望する者への受付を実施することができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
公共下水道の整備と合併処理浄化槽の設置促進により、汚水処理人口普及率の向上に取り組むとともに、生活排水対策の推進を図る。また、令和元年度から、国の方針に併せて新設に対する補助を廃止し、転換に重点を置く取組として、配管費等の上乗せ補助を実施しており、引き続き、継続的な転換促進を図っていく。			

令和 6年度（ 5年度決算分） 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道整備課
	施策	汚水・雨水対策の充実		電話番号	087-839-2771
	基本事業	汚水対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 汚水施設整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	公共用水域の水質保全と、人々が健康で快適に暮らせる生活環境を創出するため、汚水施設の計画的な整備を行う。下水道事業は、高松市では昭和8年から整備に着手し、昭和40年に福岡下水道処理場で汚水処理を開始、昭和57年に東部下水処理場の供用を開始、平成13年に香川浄化センターの供用が開始された。現在、平成28年3月に策定した、第4次高松市生活排水対策推進計画に基づき、整備を進めている。令和5年度末現在、事業計画面積 6 5 6 9 . 7 h a 整備済面積 5 5 0 8 . 5 h a 行政人口 4 1 7 , 9 6 3 人 処理人口 2 6 9 , 1 8 4 人				
6年度概要	汚水管きょ整備（高松、牟礼、庵治、香川、香南、国分寺地区等） φ 2 0 0 ～ 2 5 0 m m L = 2 , 3 0 1 . 1 m				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	③インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	下水道事業計画区域
意図（どのような状態にしたいか）	下水道事業計画区域内で下水道の整備を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 単年度整備面積	h a	5	3	3	4	13
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
下水道整備面積	h a	目標値	5,575	5,586	5,599	0	5,599
		実績値	5,503	5,506	5,509		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 下水道の整備により生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。 (目標達成度)	(達成度) 98.4% 34点						
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	(達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	154,314	294,397	336,166	481,422
（事業費）	〔円〕	122,436	262,183	301,891	481,422
（職員人件費）	〔円〕	31,878	32,214	34,275	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 未整備区域の中でも、費用対効果を含め優先度を考慮の上で、整備に努めた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 第4次高松市生活排水対策推進計画に基づき、現下水道事業計画区域内の未整備が所について、私道への布設承諾の取得を含め、汚水管の整備を推進する。			